

池崎忠孝 いけざき ちゆうこう 評論家。明治二十四年二月九日岡山縣生れ、昭和十四年十一月十日没（一九二一—一九九一）。舊姓赤木。筆名赤木栢平 あかうへい。東京帝國大學法科大學卒。在學中夏百漱石の門に入り。卒業後『萬朝報』論説部員、のち衆議院議員、文部參事官など。

著書『藝術上の理想主義』（赤木栢平名、大正五年十月十二日洛陽

堂）、『夏百漱石』（同、大正六年五月二十八日新潮社）、『人及び

思想の高山樗牛』（同、大正七年一月十八日新潮社）『最近日本文家評傳叢

書』（）、『太子所行讚』（同、大正十年九月十五日大村書店）、『米

國怖るゝい足らざる』（昭和四年九月一日先進社）、『日本潜水艦—太

平洋作戦と潜水艦戦』（昭和四年十一月二日先進社）、『七七友芥川龍

之介への告別』（昭和五年四月十五日大人社）、『世原と櫻威するマ

メリカニズム』（昭和五年四月十七日大人社）、『大英帝國を既に没

す（附印度革命のそとみたる道）』（昭和六年二月二十日先進社）、『宿

命の白米戰等』（昭和七年七月十一日先進社）、『國防の七場から』

（昭和十一年十一月二十日昭林社）、『蘇聯を監視せよ』（昭和十一年

年九月二十八日第一出版社）『第一出版時局叢書』（）、『英國敢て挑戦

すゝのか』（昭和十一年十月二十日第一出版社）『第一出版時局叢書』（）、

『世界大戰回顧録—附戰争のメオ』（昭和十二年九月二十一日第一出

版社）『池崎忠孝—最近軍事情勢論文』叢書』（）、『新文邦論』（昭和

十二年十月二十日モダン日本社。普及版・十五年八月一日明治書房）、

『新島茂根據地—英國の極東作戦』（昭和十四年七月二十一日第一出版

社）、『白米戰はゞ』（大正洋戰争の理論と實際）』（昭和十七年一月

七日新潮社）、『長期戦必勝』（昭和十七年二月十五日新潮社）、『概

説石田三成』(昭和十七年八月十日國會書房)、『世宗忠孝選書』(可大
英帝國の既の没す』尾關石三編・昭和十七年十月二十日、可世界は斯
くして戦へり』(十八年二月二十日大阪・巖々堂書店)、可聖徳太子讚』
(昭和十八年六月二十日國會書房)、可米國の生産力を衝く』(昭和
十九年十一月五日日本翼賛壯年團中央本部「翼賛壯年叢書」)等。